

NGO福岡ネットワーク機関誌  
**国際協力ニュース** July 2018  
Vol.127

## Contents

P 2-3 「世界の今を知る」 P 4-5 「FUNNトピックス」

P 6 「加盟団体トピックス」 P 7 「イベント情報」



▲ソルト・パヤタス スタディツアーの様子

### スタディツアー ワークキャンプとは？

夏から秋にかけ、多くのNGOが海外のプロジェクト現場を訪問したり、ボランティア活動を行うスタディツアーやワークキャンプを企画・実施します。「国際協力に関心がある」「海外の現場を見てみたい」「観光旅行じゃ物足りない」けれども、一人で行くのは不安という方にはオススメです。

今回の国際協力ニュースでは「スタディツアー・ワークキャンプ」をテーマに特集します。また、海外で安全に過ごすための情報も盛り込みました。これからスタディツアー・ワークキャンプに参加してみたい方、必見です！

2ページより本文

読み解く Point



## 特集

# Study tour Work camp



## スタディツアーとは？

NGOが実施する海外プロジェクトの現場を視察し、現地の貧困の状況、その国や地域の歴史・文化・暮らし等を知り、学ぶことができるツアーです。スタディツアーを通じ、観光旅行では得られない「学び」や「体験」ができます。

## ワークキャンプとは？

現地の人たちや他のボランティアの人たちと一緒に共同生活をしながら、ボランティア活動に取り組む合宿型キャンプのことを指します。視察中心のスタディツアーに比べると、より作業を重視したプログラムになっています。



## 安全なスタディツアー・ワークキャンプのために

### たびレジに登録しよう

たびレジとは、外務省による海外安全情報サービスです。短期渡航者を対象にした登録システムで、滞在先の緊急情報や安全情報をメールで受け取ることができたり、万が一現地でトラブルに巻き込まれた際にも素早く支援を受けることができます。登山する際の入山届けのようなもので、ぜひとも登録をおすすめします。3か月以上の長期滞在の場合はたびレジへの登録ではなく、在留届をご提出ください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp>

### 海外地域危険度をチェックしよう

外務省の海外安全ホームページで各国の危険度等についての詳細や、最新の安全情報がチェックできます。危険度はレベル1からレベル4に分類され、レベル4では渡航を止めてくださいという勧告になります。他にも感染症や事件などの最新情報が掲載されています。スタディツアー・ワークキャンプ実施団体からもらえる情報に加えて、ぜひとも渡航先の情報をこまめに確認するようしましょう。<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 海外で健康に過ごすための情報を読んでみよう

厚生労働省検疫所FORTHのウェブサイトでは、海外渡航に際しての健康に関する情報を得ることができます。旅行前の準備段階から、もしも現地で病気になった場合など、テーマごとのコラムになっていて簡単に読むことができます。せっかくの渡航中に病気やけがをしないためにも、ぜひ参考にしてください。

<http://www.forth.go.jp/useful/attention/index.html>

### 海外旅行保険に加入しよう

スタディツアー・ワークキャンプによっては海外旅行保険への加入が必須となる場合があります。主催団体指定の保険会社がある場合もありますので、まずは問い合わせてみましょう。特に保険会社の指定がない場合は、インターネットや空港での加入も可能です。海外での医療費は簡単な診療であっても高額になるケースがあります。もしもの時のためにぜひ海外旅行保険に加入してから渡航しましょう。

ソルト・パヤタス

## フィリピンの貧困地域を訪れる体験・交流型スタディーツアー



### ■日程

2018年8月26日(日)～9月1日(土)

### ■訪問地

フィリピン共和国 ケソン市パヤタス地区  
リサール州カシグラハン地区

### ■金額

98,000円

※食費・宿泊費等の現地費用を含みます

※往復の航空券は含まれておりません

現役NGO職員がツアーの前後も学びをサポート！

訪問地のパヤタスはフィリピン最大級のごみの廃棄所(現在はすでに封鎖)があることで有名な地域です。貧困に苦しむ家庭が多く、経済的な理由で教育を受けることができない子供たちもいます。今回、ツアー前に4回、ツアー後に2回の計6回、参加者を対象としたセッションを開催します。ともに現地で過ごす仲間たちと学び合うことで、将来も続く関係創りと、社会に出てからも通用するスキルの向上も実現することができます。

問い合わせ先：ソルト・パヤタス事務局 ☎ 092-980-1172／090-5122-2533 ✉ contact@saltpayatas.com

チベットを知る会

## ゲレックさんとチベット高原の故郷を訪ねるスタディーツアー



### ■日程

2018年7月30日(月)～8月7日(火)

### ■訪問予定の国、都市

チベット

### ■金額

198,000円

今年のスタディーツアーに同行するゲレックさんは、チベット・アムドのマチュ出身で幼少期よりチベット仏教僧侶として生活。12才でヒマラヤを越えてネパールへ渡り、現在は福岡在住です。高山植物に彩られる夏、ゲレックさんの故郷でチベットの遊牧民の暮らしに触れ、現地の実際を視察する貴重なスタディーツアーです。

問い合わせ先：アルパインツアーサービス株式会社 ☎ 092-715-1557 チベットを知る会 ✉ info@abouttibet.net

NICE

## 地球を舞台に海外90ヶ国・国内50ヶ所でボランティア！



### ■日程

各ワークショップによる

### ■金額

海外 39,000円～ 国内 29,000円～  
(食費・滞在費は現地が提供。初参加の場合)+現地までの交通費や諸経費

NICEは日本を中心にワークキャンプ等の各種事業を主催するNGOです。日本全国・世界各地の人々と共に、多様な生態系・文化・個性が生き生きと友好共存する地球社会を開拓しています。

国内・海外ともに沢山のプログラムが開催される予定です。詳細はNICEウェブサイトをご確認ください

問い合わせ先：NICE ☎ 03-3358-7140 ✉ info@nice1.gr.jp

# FUNN NEWS

大募集！

## JICA「NGO等提案型プログラム」×FUNN 解決したい気持ちを形に変える —九州のNGO等の組織強化—

FUNNでは、独立行政法人国際協力機構（JICA）の支援を受けて、九州のNGOが更なるパワーアップを目指すための組織マネジメント研修を行います。より良い活動に向けて、団体改革？…に取り組んでみませんか？



■実施期間：2018年7月

～2020年9月

集合研修や個別指導を組み合わせて、焦らず  
&じっくり取り組みます。

■受講条件：九州に拠点がある国際協力活動を実施中又は実施予定の団体

■受講料：無料（団体所在地から研修開催場所までの旅費補填あり！）

お申込みは、所定の「受講申込書」をFUNN宛てにご提出下さい。

【申込締切】2018年7月7日（土）必着

詳しくは「九州NGO強化」で検索を！

報告

## 総会報告

2018年度

### NGO福岡ネットワーク通常総会

報告

## 国際協力やNGOの「相談受け付けます

### 30年度「外務省NGO相談員」事業を受託しました！



(特活) NGO福岡ネットワークの2018年度(通常総会を5月6日(日)午後2時から福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」にて開催しました。議案書に基づき、2017年度事業・決算の報告と2018年度事業計画・予算の説明が事務局から行われ、全ての議事が承認されました。最後に代表の二ノ坂保喜から

の挨拶の後、通常総会は閉会しました。

「」活用ください！

★過去の出張サービス例：「考える国際協力セミナー」「鹿児島」「地域から始める。国際貢献」「見て、学んで、やってみよう」「NGO相談員と語る」・宮崎の国際協力活動のためにできる」と

## 新職員紹介

森 智子さん



皆さま、はじめまして。この4月より、FUNN事務局でお世話になつてじる森と申します。FUNNとは、前職の頃からお付き合いがあり、この度、ご縁あつてお手伝いさせていただきました。

流行りの炎上商法ではありませんが… 正直に言え

ば、国際協力には何の興味もないままに、青年海外協力隊に参加してしまったことがきっかけで、もう間もなく、国際協力女子? ババア? 歴20周年を迎えます。ボランティア活動で、途上国の現実と国際協力という仕事の存在を知りました。NGOの仕事で、理想だけでは理想は叶わないと目当たりしました。JICAの事業で、国枠組みだけでは真のニーズには応えられない葛藤を抱えました。世界平和なんて、戦隊レンジャーのキメ台詞でしか知らないのに、国際協力のいくつかの在り方を経験し、完全に微力でしかないけれど、決して無力でもない…と吹っ切れるようになりました。

今は、こんな私でもやつて来た「だれでも国際協力」の輪を広げること、そして、FUNNのようなNPO/NGO活動に、日本でもきちんとお金がまわるには…ということに関心を持っています。まずは、FUNN仲間のひととして、よろしくお願ひします!

第3回

吉野あかねさん

FUNN回顧コーナー



▲出展中のレザーカラフト



▲我が家の活動風景（筆者：写真右から二番目）



▲当時の様子（筆者：写真右）

FUNN初の常駐スタッフとして、平尾にあった事務所で、当時の事務局長の伊東弘さんや原田君子さんと活動を始めたのが2000年でした。その後、舞鶴の福岡YWCA会館内に事務所が移り、事務局長や代表理事も務めさせていただきました。会議や「NGOカレッジ」等FUNNの主催イベントで皆さんと過ごした日々の中で、多様な国際協力の活動を身近に学ぶことができ、また色々な人々と繋がることができたことは、私の財産です。

2011年以来、JICA（国際協力機構）の長期専門家として米のプロジェクトに従事している夫と共に、ガーナ共和国で3年間、ウガンダ共和国に移って3年半が過ぎました。

ここに来て以来、青年海外協力隊員の方が始めた活動を私が引き継ぎ、Bereessaeraというグループでボランティア運営しています。アフリカの革と布を使ってクラフト作りをしています。革手縫いの技術を指導し、女性達の雇用を創造するためです。開発教育が専門だった私は、モノ作りの経験は無かつたのですが、多くの日本人の方々にも協力してもらい、多種類のクラフトを製作、販売できるようになりました。クラフトの質を高く維持することが何よりもですが、商品の価値を高めるために細部まで綺麗に作ることの重要性を伝えています。自分の手で美しいものを生み出すことで、女性が自信も持ち、仕事にプライドを持って欲しいと願っています。

首都カンバラの生活は年々便利になっていますが、国としてはアフリカ一の人口増加率で就業の機会を求める競争が益々激化するなど、厳しい現実が待っています。学校教育、医療、公務員や労働者の質の課題に加え援助の功罪など、日々色々と感じながら生活しています。職業の選択肢が増える未来への助になれることを願いつつ、ウガンダ人の女性グループが継続して収入を得られるよう、自立のサポートを目指しています。

# 一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

## 20周年記念式典 報告

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)は、本年5月に創立20周年を迎え、記念事業として5月12日(土)に20周年記念式典・祝賀会を実施致しました。式典・祝賀会を合わせ648人の方々に御参集頂き、盛況のうちに終える事ができました。下記の通り報告させて頂きます。

記念式典は都久志会館にて14時より開催し、日頃からご支援頂いている皆様をはじめ、当財団についての話を初めてお聴きになる方まで多くの方にご参集頂きました。式典開会前には、ホールにおいて展示品の説明やCMCグッズの販売、募金・書き損じハガキの回収を行い、皆様からのたくさんの愛を頂戴致しました。

式典の司会は、FBSアナウンサー若林麻衣子様が務め、ご来賓を代表して福岡市教育長星子明夫様、NPO福岡ネットワーク代表二ノ坂保喜様にそれ多忙の中、ありがとうございました。ご

続いて理事長 大谷賢二より、「CMC 20年のあゆみ」というテーマを訪れた際地雷被害者の多さに衝撃を受け、一人で活動を開始した当時の事や、今後CMCがめざしていく方向等、約70分にわたり講演を行いました。また講演の中では、歴代の現地駐在員・各地事務局責任者・支援をしてくれた小学校の卒業生が壇上に上がり、それぞれの当時の活動や思いを話してくれました。

20周年記念式典には多くの皆様に、多大なるご協力をいただきました。理事長である大谷賢二が、1996年カンボジアに入った際、地雷被害者の悲惨な状況を見て「この状況を何とか出来ないか!」と一人で立ち上げたのが22年前であり、数々の苦境を乗り越えてこの日を迎える事が出来たのも、全国各地の小・中・高・大学や個人、企業の皆様からのご支援の賜物で御座います。深く感謝申上げます。カンボジアでの地雷被害ゼロに向け、一層現地活動に注力していく所存でございます。今後も変わらぬご支援の程、宜しくお願ひ致します。

式典の締めくくりとしてアキラ氏の講演を行いました。生い立ちから

その後、田口睦奥雄様、羽田野勝利様、松本元駐在員、ラブット現地職員に対し、大谷理事長よりこれまでの活動に敬意を表し、表彰状・記念品を贈呈しました。また、「2017年度書き損じハガキプログラム」において、4,375枚のハガキを寄付してくれた新宮東小学校を代表し、中山莓香さんに感謝状を授与し、感謝の意を述べました。

20周年記念式典には多くの皆様に、多大なるご協力をいただきました。理事長である大谷賢二が、1996年カンボジアに入った際、地雷被害者の悲惨な状況を見て「この状況を何とか出来ないか!」と一人で立ち上げたのが22年前であり、数々の苦境を乗り越えてこの日を迎える事が出来たのも、全国各地の小・中・高・大学や個人、企業の皆様からのご支援の賜物で御座います。深く感謝申上げます。カンボジアでの地雷被害ゼロに向け、一層現地活動に注力していく所存でございます。今後も変わらぬご支援の程、宜しくお願ひ致します。



# Event Information

## FUNN周辺の"耳より" イベント情報

### NGO福岡ネットワーク

7/6 倶楽部FUNN7月

■日時：2018年7月6日（金）

19:00～21:00

■講演タイトル：「ブータン今昔、幸せのあり方・感じ方」

■ゲスト：佐々木 健一

初代ボランティア調整員として首都で1988年から3年半。農業関係のプロジェクト調整員として東部で2012年から2年半、中西部で2016年から2年間を過ごしたブータンの変化、農村部の状況や2016年の幸福度調査などを写真を中心に紹介します。

■食事メニュー：原田事務局長の手料理

■参加費：一般1,200円 FUNN会員・加盟団体会員、学生は1,000円

■定員：20名（先着順）

■お申込み先：NGO福岡ネットワーク

### アジア女性センター

7/14 報告会「女だから日本へ？—移民大国ネパールから見た日本」

近年福岡市内では、コンビニやスーパーでネパールからの移住女性をよく見かけるようになりました。AWCは、ネパールNGOのクラフトで現地女性と少女の支援をしています。ネパール社会を長年研究し、ジェンダー視点での支援を続けておられます。今回は田中さんに、ネパール出身の移住女性について、日本と他国へ移住した場合の比較についてお話を伺います。

■日時：2018年7月14日（土）

11:00～13:00

■場所：福岡市人権啓発センター（ココロンセンター）研修室

福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ8F

■講師：田中雅子さん（上智大学総合グローバル学部教授）

■参加費：500円

■申し込み方法：

メール、電話ファクスでお申し込みください。当日参加もOKです。

■お申込み・お問い合わせ：

アジア女性センター

■電話 092-513-7333

■メール awc-a@atlas.plala.or.jp

### エスペランサ

7/28 第15回アフリカの希望チャリティーコンサート

NPO法人エスペランサが行っている、西アフリカギニアビサウ共和国でソナック小中学校の運営を支援するためにはチャリティーコンサートを行います。今回は、知的障害があつても音楽活動を全国で行っている筑紫野市の「ピュアハート」さんに来ていただき、多くの方に楽しんでもらえたらと思っています。

■日時：2018年7月28日

14:00～

■場所：朝倉市フレアス甘木 多目的ホール

■演奏者：「ピュアハート」

■参加費：大人1,000円 小学生500円  
(当日券 各1,200/700円)

■申し込み方法：連絡先にお名前と人数をお知らせください。

■主催者：アフリカの希望チャリティーコンサート実行委員会

■電話 080-3948-6963（山口）

0946-24-9263（エスペランサ事務所）

### PP21ふくおか自由学校

7/14 「労働力『商品』としてあつかわれる外国人～技能実習生と日本語学校留学生の今～」

現在日本では技能実習生や日本語学校留学生を受け入れています。送り出し機関（プローカー）は斡旋料を含む多額の借金をさせて来日させ、そして日本での受け入れ機関からは「人」ではなく労働力として扱われています。その彼ら、彼らの現状を報告します。

■日時：2018年7月14日（土）

[開場13:30開演14:00 終了16:30]

■場所：ココロンセンター（福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ8F）

■定員：60名

■参加費：1000円（学生半額）

■問題提起：竹内正宣（たけうち・まさのぶ）さん

■経歴：行政書士を55才で開業。高齢者の成年後見や外国籍者の権利擁護が主な業務。傍ら「移住労働者と共に生きるネットワーク・九州」の事務局長として、大村入国管理センターへの月例面会や外国籍者の無料相談を実施。

■お問い合わせ先

■電話 090-4357-7596（藤岡）

090-7157-1873（菊川）

■メール ohyamayairochou@yahoo.co.jp

## 正会員団体 (27団体)

- \*(特活)ISAPH
- \*アジア開発銀行NGOフォーラム
- \*(特活)アジア女性センター
- \*(特活)明日のカンボジアを考える会
- \*認定NPO法人 ACE
- \*(特活)エスペランサ
- \*(財)カンボジア地雷撤去キャンペーン
- \*(特活)九州海外協力協会
- \*コミュニティコミュニケーション・サポートセンター
- \*債務と貧困を考えるジュビリー九州
- \*佐賀NGOネットワーク
- \*JVC九州ネットワーク
- \*NPO法人聖母
- \*認定NPO法人ソルト・パヤタス
- \*(特活)シェルノブリ医療支援ネットワーク
- \*認定NPO法人 地球市民の会
- \*チベットを知る会
- \*NPO法人トゥマンハティふくおか
- \*国際協力NGO NESTEP
- \*(特活)NICE(日本国際ワークキャンプセンター)
- \*ネパール歯科医療協力会
- \*(特活)バングラデシュと手をつなぐ会
- \*バングラディッシュピルガン村診療所 実行委員会
- \*PP21ふくおか自由学校
- \*(財)福岡YMCA
- \*フレンズ国際ワークキャンプ九州
- \*モザンビークのいのちをつなぐ会

## 編集後記

まず先月号(5月号)は事務局の都合によりお休みをさせていただきました。楽しみにしていただいている皆様、すみません。年度も新たに、また職員も新たに、今年度も継続して発行していくので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

今月号ではスタディツアーウークキャンプの特集を掲載しています!ご興味のある方はぜひ!! (編集:多原)

## 福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

# FUNN NGO福岡ネットワーク FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」内  
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@mbk.nifty.com URL: <http://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています(外務省委嘱) ◆◇◆

\*火~土 13:00~18:00 \*日・月・祝…休み

\*事務所を留守にすることがありますので、ご来所の際はお電話くださると助かります。  
※専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

## FUNN 応援寄付 募集中!

2013年に、NGO福岡ネットワーク(FUNN)は設立から20周年を迎えました。20年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNを作りました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力の参加促進等の事業を行ってきました。これまでご支援いただいた皆さん、本当にありがとうございます。

これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。20周年を迎えるにあたり、特に国際協力のこれからを考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力し、そのための寄付を募っています。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

### ★会費・寄付の振込先

郵便振替口座名: NGO福岡ネットワーク 口座番号: 01790-7-89478

※入会のお申込みにつきましては、下記連絡先までお問い合わせください。

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: [funn@mbk.nifty.com](mailto:funn@mbk.nifty.com)

## 会員の種類について

FUNNは、27のNGOがネットワークを作り、会員団体には資質向上のための学習会、広く市民の方々にはNGO活動をお知らせし、供に考える各種活動を行っております。その活動の一環として「国際協力ニュース」を発行し、会員の方には隔月郵送しています。FUNNには以下の会員制度があります。この機会にぜひご検討下さい。

- ◆正会員 団体 10,000円／1口: FUNNの目的に賛同して入会して団体
- ◆賛助会員 企業 30,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業
- ◆賛助会員 団体 10,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体
- ◆賛助会員 個人 6,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人
- ◆通信会員 3,000円／1口: 機関誌の定期購読のために入会した団体や個人

